

町田市の旧跡候補

	名称	場所	概要
1	店屋駅	南町田	延喜式に記載のある店屋駅が町谷のあたりであるといわれている。
2	小町井戸	小野路町	小野小町が病気を治したと伝わる井戸。
3	真光寺	真光寺	深大寺の僧長弁が「私案抄」嘉慶2年(1388)に真光寺の勧進について記している。
4	木曾宿	木曾町～木曾東	大山街道の宿場。
5	小野路宿	小野路町	大山街道の宿場。
6	鎧(ヶ淵)堰と用水	野津田町	北条朱印状で造られたものと考えられる。戦国期から近年まで形状を変えながら利用されてきた。
7	絹の道と二・六の市	原町田	原町田の市は天正14(1586)年に開かれたといわれている。横浜開港以来、生糸の輸送ルートとして群馬・長野・山梨などと横浜を結ぶ道(絹の道)が発展し、原町田の二・六の市(2と6のつく日に開催)がにぎわった。
8	御尊櫃御成道		元和3年(1617)徳川家康の遺骨が久能山から日光へ移される際、通った道。
9	小山田与清出生地	上小山田町	江戸後期、三大国学者・小山田与清の出生地。
10	五十嵐梅夫・浜藻生誕地	南大谷	女流俳人五十嵐浜藻(1772-1848)とその父梅夫の生誕地。
11	凌霜館跡	野津田町	現自由民権資料館の地にあった自由民権運動家の錬成道場「凌霜館」跡地。
12	吉田屋(吉田楼)跡	原町田	慶応元年(1865)シュリーマンが宿泊したと思われる宿。武相懇親会会場として利用される。
13	旗本山口邸	小野路町	幕末に建てられた旗本山口直邦の避難用邸宅。
14	堂之坂公苑	南成瀬	井戸石見守穀倉地、明治期居住地。
15	小野郷学開校地(華厳院・大泉寺・万松寺・南仙堂)	野津田町・上小山田町・小野路町・函師町	明治4年(1871)に開校した小野郷学が巡回開講した場所。受講者の年齢幅、遠隔地受講者がいるなどの特徴もある。(ただし、各箇所この件を優先すべきか検討要)
16	石阪昌孝屋敷跡	野津田町	自由民権運動を主導した石阪昌孝の屋敷跡。北村透谷と石阪美那の出会いの地でもある。
17	八木重吉出生地	相原町	詩人八木重吉(1898-1927)生誕地。
18	養英館跡	相原町	町田市域最初の私立(小)学校跡。
19	融貫社跡	原町田	自由民権運動の結社(学習グループ)跡。
20	尚綱塾跡	函師町	佐藤後素が明治27年(1894)に開いた漢学塾。
21	小川梅園	本町田	明治42年(1909)3月4日に開園した梅園。梅約1000本・桜約500本を中心に、四季折おりに花を咲かせる樹木が植えられた。香雪園に名称変更、戦後農地改革で畑作地に。
22	碓氷社甲寅組	小野路町	責任販売組合小野路製糸所が組合製糸碓氷社に加入して経営された。
23	鶴見川社	大蔵町	明治27年(1894)に設立された生糸買取・販売会社。
24	鶴川製紐	野津田町	明治33年(1900)創業の製紐会社。
25	小山田三つ葉軟化穴	上小山田町	丘陵の南斜面に横穴を掘り、地熱と太陽熱だけで、真冬に軟化三つ葉を生産する技術。上小山田町の田中庫三氏が大正12年(1923)に完成させた。

26	お召しホームと行幸道路	原町田	昭和天皇が陸軍士官学校へ向かうために利用した原町田駅のホームと下車してから相武台へ向かう道路。
27	戦車道路	常盤町・小山町	相模陸軍造兵廠の設置により戦車などの性能テストを実施する戦車道路が昭和18年(1943)に造られた。
28	多摩送信所跡	相原町	昭和19～20年(1944-1945)、木造無線塔6基が建設された。ポツダム宣言受託を発信した送信所跡。
29	米軍機墜落地	原町田	昭和39年(1964)4月5日に米軍機が墜落した場所。現在は駐車場。
30	私立南多摩農村図書館	大蔵町	農民運動のオルグ活動で鶴川に入村した浪江虔が、農村文化の向上をめざして開館した図書館。
31	寒竹学園	大蔵町	神戸照子が蔵書を提供しての読書会(青年向け)、日曜学校・紙芝居(子ども向け)などをおこなった。
32	戦没者慰霊塔	函師町	近代の村単位の戦争碑が集められ、甲塚跡地に脇に建設。甲塚は源義賢と源義平の戦いで散乱した武具を集めて塚にしたとの伝承あり。